

教育に関する 意見交換会を開催

品川区では、平成12年度より『教育改革「プラン21」』の取り組みを開始し、十数年が経過しました。これまでの取り組みと成果・課題についてご説明し、ご意見・ご質問をいただくため、平成24年度より初めて教育委員会が地域に直接出向き、町会長・自治会長を中心に、それぞれの地域の方々と意見交換会を開催してまいりました。

意見交換会では、主に次のよう
なご意見をいただきました。

- ・ 学校選択制と地域コミュニティ、地元の小規模校への行政の支援について
- ・ 家庭教育力の低下への対応について
- ・ 品川区固有教員の採用、保幼小の連携、すまいるスクール等について



いただいたご意見、ご質問については、これからの教育施策に活かしていきたいと考えております。

時間にして2時間ほどの会ではございましたが、全ての会において、最後には教育委員会の施策に対し温かいご声援をいただき、万感の拍手で締めくくられました。

平成25年度も引き続き、進め方等も工夫し実施していきたいと考えています。

品川学園・荏原第六中学校が 全面竣工しました

工事期間中は、児童・生徒、保護者および地域の皆さまには大変ご不便をおかけしましたが、ご支援、ご協力をいただき、より安全で快適に過ごせる学校にすることができました。

【小中一貫校品川学園】

新校舎は延べ床面積約21008㎡、鉄筋コンクリート造地上4階建て、普通教室小学校18室、中学校12室、特別支援教室小・中学校各2室に特別教室、屋内運動場、武道場、屋内温水プールのほか、区内全小中学校が利用する経済活動体験学習施設などを備えています。

また、幼保一体施設との複合施設となり、保・幼・小の連携に対応できるよう配慮しました。



校庭は隣接地を購入し、約13600㎡もの広大な面積となりました。運動場は野球での2面同時利用も可能となっていて、その他に全天候型のテニスコートも配置しています。品川学園のみならず、区内青少年のスポーツ活動の場として活用していただけます。

エコスクールとして文部科学省の認定を受け、太陽光発電、地中熱利用、エコパークや観覧池など、様々なエコに関する設備や施設を設け学習に活用しています。

【荏原第六中学校】

新校舎は延べ床面積約6536㎡、鉄骨造地上5階建て、普通教室9室に特別教室、屋内運動場、屋上プールなどを備えています。

校庭は気象条件にかかわらず利用できるように、人工芝としました。



区固有教員宿泊研修を実施しました



講話と激励に来場の濱野区長、教育委員（市川委員長、鈴木職務代理、安尾委員）、田村教育次長、齋藤庶務課長、太田指導課長を囲む12名の固有教員（2日目）

「生涯ずっと品川の教師」として誕生した品川区固有教員を対象とする宿泊研修（平成24年8月1日より二泊三日）を実施しました。

本研修は、区長を会長とする「品川区教志研究協議会」による研修の一環です。

現在、品川区の学校で活躍する12名の固有教員が全員参加し、固有教員としての資質や能力の向上に努めました。

この3日間は、区長講話「固有教員への期待」や教育委員等

また、固有教員全員で、品川の子どもたち、学校教育について論じ合う姿が夜まで続くなど、固有教員の絆が深まり、小中一貫教育の充実へ一丸となつて取り組む意欲を全員が高めることのできた宿泊研修でした。

による講義をはじめ、SWOT分析手法による課題分析やディベート演習等を通して、一人一人が固有教員としての自覚や役割への認識を新たにしました。



派遣教諭として勤務しています。震災から2年がたちましたが、被災地には多くの課題が残されています。

1つ目に、心のケアです。

震災の影響で不眠が続いている児童や津波の怖さが消えない児童がいます。家を流された方や、家族を亡くした方にとって、すぐに心の整理がつくような簡単な問題ではありません。

2つ目に、沿岸部ではいまだに多くのがれきが残されています。震災1年後の4月から比べても大きな変化が見られません。岩手、宮城県で生じたがれきの広域処理には反対運動が根強く、処理の見通しが立っていないがれきが多くあります。



私は宮城県登米市立豊里小・中学校に被災地

震災の記憶を風化させてはいけない

鈴ヶ森小学校教諭 平井 裕二

3つ目に、復興の兆しが見えない方がたくさんいます。仮設住宅に住む方々にその苦悩をお聞きする機会がありました。地盤沈下により再建が難しい地域や、仮設からの移転先が決まらない方たちの苦悩は計り知れないものがあります。支援を行っていく中で、ニーズにあつた支援の必要性を改めて感じました。

被災地では地震が起きるたびに動揺が走ります。震災について普段は話したくない方も、震災の恐怖を思い出してしまふようです。被災地の方はみなさん口をそろえて、「震災の記憶を風化させないでほしい。」とおっしゃいます。私たちには、被災地や自分自身のためにできることがたくさんあります。そのことを忘れず、できることを実行していくことが大切だと思います。この経験を今後も伝えていきたいと思っています。

第31回 動物愛護 ふれあい作文 コンクール 表彰受賞者

主催
品川獣医師会
品川区教育委員会

今年も動物愛護週間になんだ動物愛護作文コンクールに多数の優秀な作品の応募がありました。選考の結果、次の皆さんが9月18日(火)に品川区役所第三庁舎講堂で表彰を受けました。受賞者の皆さんを紹介します。(五十音順・敬称略)

5年生 入選の部

・ 鮫 浜 — 天野 真衣花
・ 伊藤学園 — 飯塚 翔太郎
・ 大間 窪 — 市川 明葉
・ 伊 藤 — 作本 明日香
・ 伊藤学園 — 嶋 花凜
・ 伊 藤 — 鈴木 日渚子
・ 延 山 — 土屋 志野
・ 旗 台 — 松田 純葵
・ 戸 越 — 宮下 いつみ
・ 大井第一 — 村上 実優

5年生 佳作の部

・ 荏原平塚学園 — 大槻 遥
・ 第四日野 — 岡田 愛佳
・ 京 陽 — 加藤 優菜
・ 第二延山 — 久保田 結
・ 御殿山 — 小嶋 塔子
・ 品川学園 — 佐藤 ふぶき
・ 鮫 浜 — 横田 朋香
・ 城南第二 — 横山 結衣
・ 鈴ヶ森 — 渡邊 真歩

6年生 入選の部

・ 清水台 — 安藤 佳慧
・ 旗 台 — 上野 蘭晶
・ 源氏前 — 江後 良典
・ 後 地 — 大牟田 真緒
・ 御殿山 — 杉澤 えみ
・ 城南第二 — 鈴木 七海
・ 第一日野 — 田邊 冴月
・ 立 会 — 中谷 美音
・ 鮫 浜 — 肥田野 希実
・ 八潮学園 — 山崎 玲奈

6年生 佳作の部

・ 三 木 — 江田 千聖
・ 戸 越 — 小川 詩
・ 八潮学園 — 川島 菜緒
・ 第二延山 — 小林 清楓
・ 浅間台 — 佐藤 麻尋
・ 清水台 — 下村 歩実
・ 京 陽 — 畑中 章孝
・ 大間窪 — 松葉 広都
・ 第二延山 — 丸山 純奈
・ 伊藤学園 — 山本 芽生
・ 第三日野 — 吉田 汐里

第34回 品川区長杯 少年野球 大会

第34回品川区長杯争奪少年野球大会が、しながわ区民公園少年野球場を中心に、8月26日から10月14日まで開催され、熱戦を繰り広げました。

中学生の部

優勝 大井西ツインズ 16チーム参加
準優勝 水神ファイターズ
第三位 宮前ジュニアーズ
平レパーズ

小学生高学年の部

優勝 西大井ウインズ 35チーム参加
準優勝 八潮ドリームキッズ
第三位 浜川ドルフィンズ
戸越イーグルス

小学生低学年の部

優勝 水神ファイターズ 33チーム参加
準優勝 山中ビーバーズ
第三位 相生イーグルス
元芝ハヤブサ



水神ファイターズ



西大井ウインズ



大井西ツインズ